

学校だより 6月号



赤見台第一小学校 令和4年5月31日(火)
鴻巣市赤見台4-19-1 TEL 048-596-1688
<http://aka1-e.konosu.edumap.jp> FAX 048-597-0265

赤見っ子

学校教育目標

(あ) 明るい心で 助け合う子
(か) 体も心も たくましい子
(み) 自ら学ぶ かしこい子
～テキパキにここに赤見っ子～



バスケットボール大会を終えて

校長 大澤 紀子

校庭の芝生の緑が、色鮮やかになってきました。梅雨の季節が近づいてきましたが、校庭では、元気に遊ぶ子供たちの姿が見られます。

さて、5月13日には、6年生が市内バスケットボール大会に参加しました。これは市小学校体育連盟が主催し、市内の小学6年生が、中学校区をもとに5つのブロックに分かれてバスケットボールの試合をして交流を図るものです。箕田小・鴻巣北小・赤見台第二小・赤見台第一小の4校で各チーム2試合ずつ対戦しました。6年生は、この大会に向け、4月初めからチームを作り、体育の授業や休み時間、週3回の放課後練習を続けてきました。6年生の大会に臨む意欲と熱意は素晴らしいものがあり、とても熱心に練習に取り組んでいました。

大会当日は、どのゲームにも勝ち負け様々なドラマがありました。最後の30秒でゴールを入れられて負けてしまった試合。反対に最後の30秒でゴールを決めて勝った試合。最後の逆転にとっても悔しい思いをした試合。2試合とも勝利して喜んだチーム・・・など。どの試合も子供たちの全力の戦いがあり、終わった時には感動とやり切った満足感がありました。

バスケットボール大会は一つの行事ですが、この経験を通して、子供たちはどんなことを学んだでしょうか。私は校長として、この大会を通して、「本当のチームワークとは何か」を考え、感じてほしいと思っていました。大会後の感想では、子供たちは、「互いに高め合うこと」「助け合うこと」「互いを尊重すること」などの大切さを感じたようでした。私が考えるチームワークは、「同じ目標に向かって、自分は何をすればよいか考えながら動くこと」「仲間を信頼すること」だと話しました。

この行事を通して、子供たち一人一人がいろいろなことを感じ取ってくれました。また、6年生としての自覚や態度が育ってきて、大きく成長した様子が見られました。大会を実施した成果が表れてとても嬉しく感じています。今後の活躍にも期待できます。

この2年間は、新型コロナウイルス感染症の影響で、様々な学校行事が中止や縮小になっています。バスケットボール大会が開催できなかった年もありました。子供たちの安全を優先してやむを得ない場合もありますが、やはり行事を通して体験し、身に付けていくことも多くあるということを実感しています。これからも子供たちに、その年齢でしかできない経験をさせられるように、しっかり考えていきたいと思っています。

